

mitsubishi

三菱電機パッケージエアコン 4方向カセットBタイプ用

ワイヤレスキット

PAR-SW9RA (受光部+操作部)

据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン4方向カセットBタイプ用ワイヤレスキットの取付けについて記載しております。よくお読みのうえ、正しく取付けてください。

1 安全のために必ず守ること

- ・取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症等の重大な結果に結び付く可能性があるもの。
△注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財等の損害に結び付くもの。

- ・お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ・お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の際は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

△警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 ・お客様自身で取付けをされ不備があると、感電、火災等の原因になります。	取付けは、この取付説明書に従い確実にこなす。 ・取付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。
取付けは、重量に十分に耐える所に確実にこなす。 ・強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。	電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。 ・電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。
改造、修理は絶対にしない。 ・改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。	配線は所定のリモコンコードを使用して確実に接続し、端子接続部にリモコンコードの外力が伝わらないように固定する。 ・接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。
お客様自身で移設はしない。 ・取付けに不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。	

△注意

可燃性ガスの洩れる恐れのある場所へ取付けない。 ・万一ガスが洩れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。	浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには取付けない。 ・壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になります。
特殊環境には、使用しない。 ・油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。	酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ取付けない。 ・感電、故障の原因になります。
病院、通信事務所などに取付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。 ・インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。	基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。 ・火災、故障の原因となります。
配線は張力が掛からないように配線工事を行なう。 ・断線したり、発熱、火災の原因になります。	濡れた手でボタンを操作しない。 ・感電、故障の原因となることがあります。
本機を水洗いしない。 ・感電、故障の原因になることがあります。	ボタンを先のとがった物で押さない。 ・感電、故障の原因となることがあります。
本機を取付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には取付けない。 ・変形、故障の原因となります。	AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。 ・破壊、発火、火災の原因となります。

2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

部品名称	個数
ワイヤレスリモコン操作部	1
ワイヤレスリモコン受光部	1
リモコンホルダー	1
単4形アルカリ乾電池	2
木ネジ 4.1×16	2

3 取付方法

1. ワイヤレス受光部取付前の準備

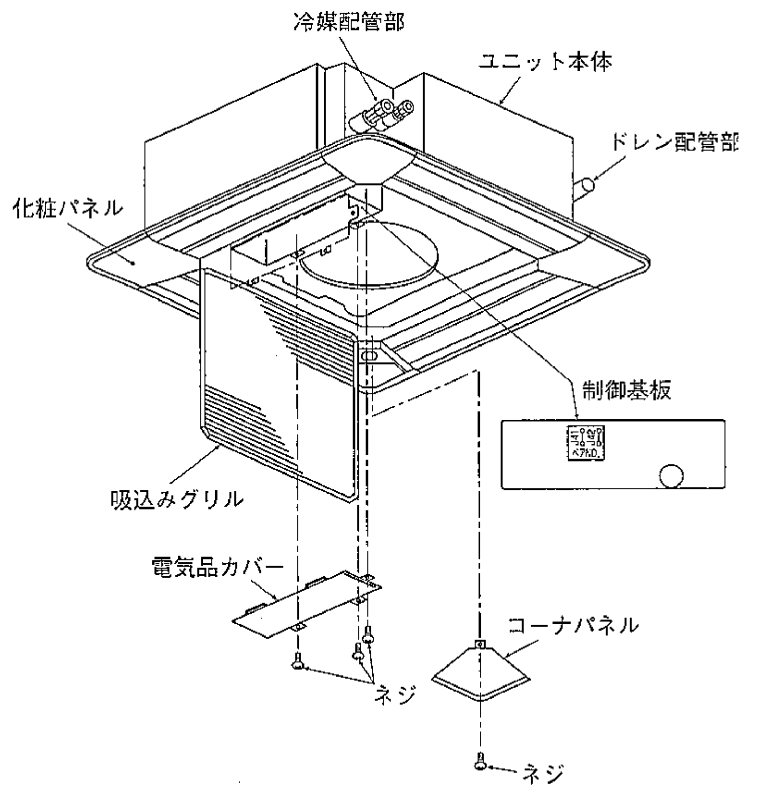
※作業前に必ず元電源を切ってください。

●吸込グリルを開き冷媒配管部（現地配線取入部）コーナと対角側のコーナパネルを外します。

※外したコーナパネルは廃却してください。

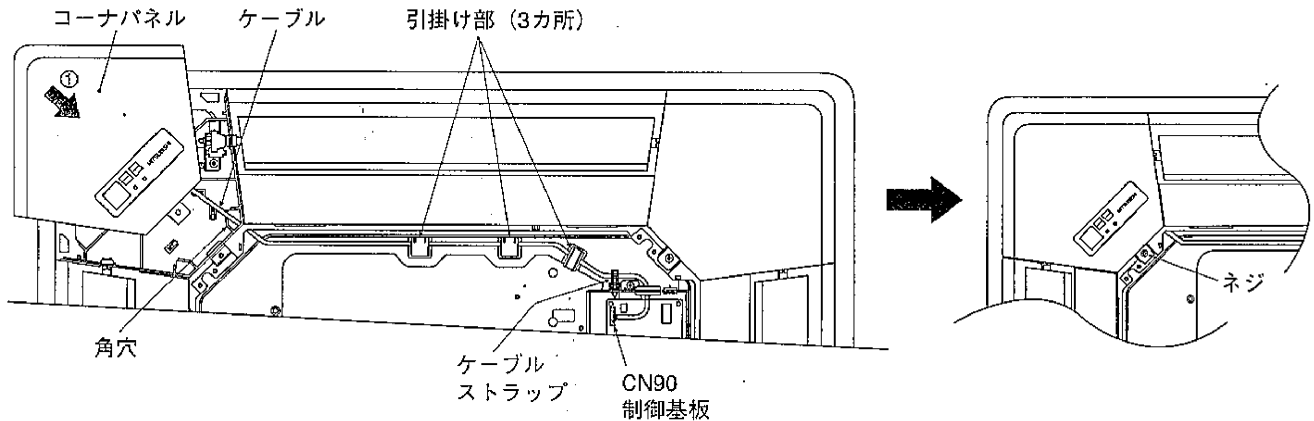
※化粧パネルの据付中に作業する場合は、化粧パネルの配線接続完了後に下記作業をしてください。

●電気品カバーを取り外します。（ネジ3本、仮掛け可能）



2. ワイヤレス受光部の取付

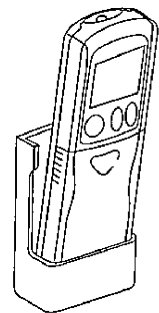
- 1.で取外したコーナパネルの部分の化粧パネルのコーナ部の角穴からワイヤレス受光部のケーブルを引き出します。
- 下図のようにケーブルをユニット本体の引掛け部（3カ所）と電気品箱内に通し、コネクタを制御基板のCN90に接続します。
再度、コーナパネルが外せる程度にケーブルの長さを調節し、ケーブルストラップで固定します。
- ワイヤレス受光部のコーナパネルを下図のように矢印①の方向にスライドし、コーナ部のネジを固定します。
(ネジは化粧パネルのコーナパネル固定ネジを流用する)



- ワイヤレス受光部の取付完了後、ユニット本体の電気品カバーを元通りに取付けます。

3. リモコンホルダー

- リモコンホルダーを付属しております。紛失などを防ぐためにご使用ください。
- リモコンは下記の場所に取付けてください。
 - 直射日光の当たらない場所
 - 近くに熱源のない場所
 - ユニットからの冷風（または温風）が当たらない場所
 - リモコンの操作が容易で、表示部がよく見える場所
 - 幼児の手が届かない場所
- リモコンの取付けは、付属のネジを使用してリモコンホルダーを壁面に固定した後に、リモコンをリモコンホルダーにはめ込みます。



【お願い】

※室内に蛍光灯が取付けられている場所には蛍光灯を点灯させ、室内ユニットが信号を受信することを確認してください。室内ユニットが信号を受信すると“ピッ”と音がでます。

電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）を付けた室内では、信号を受け付けない場合があります。

※受光距離は、直線で約7m程度です。受光範囲は左右約45°程度です。

※テレビ、ラジオより1m以上離れた場所から操作してください。

(画像の乱れや、雑音が生じることがあります。)

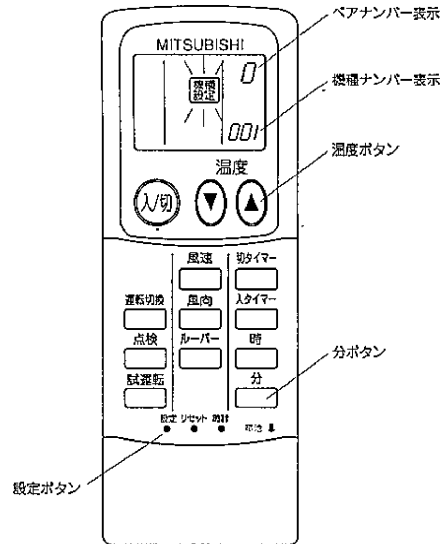
4 ペアナンバー設定方法

- ペアナンバー設定とは、ワイヤレスリモコンで操作するユニットを指定するための設定です。特に指定を必要としない場合は、本設定は不要です。
(工場出荷時は室内ユニット側(受光部側)及びワイヤレスリモコン側のペアナンバーは“0”となっています)
- 指定が必要な場合は、室内ユニット側(受光部側)の設定とワイヤレスリモコン側の設定操作を行い、右表のように合わせます。

ワイヤレスリモコン側 ペアナンバー設定	室内ユニット側設定 室内制御基板のジャンパー線 (J41,J42)を切断します
0	切断せず
1	J41のみ切断
2	J42のみ切断
3	
4	
5	
6	J41&J42切断
7	
8	
9	

[ワイヤレスリモコンペアナンバー設定操作]

1. 設定ボタンを押します。(先の細いもので押して下さい)
リモコン表示が停止の状態から操作してください。
機種設定 が点滅、機種ナンバー(3桁の数字)が点灯表示します。
2. [分] ボタンを、2回連続押します。
ペアナンバーが点滅表示します。
3. [温度ボタン] 温度ボタンを押して設定したいペアナンバーに合わせます。
※操作を間違えた場合は、[入切] ボタンを押し、2.の操作からやり直してください。
4. 設定ボタンを押します。(先の細いもので押して下さい)
設定されたペアナンバーが3秒間点灯した後、消灯します。



● 設定例 (スリムエアコンの場合)

単 独	<p>(1) 同一設定 ● 各ユニットは同一のワイヤレスリモコンで操作できます。</p> <p>(2) 個別設定 ● 各ユニットは各々固有のワイヤレスリモコン以外では操作できません。</p>	<p>● 室内制御基板とワイヤレスリモコンのペアナンバーは全て同一に設定します。</p> <p>● 各ユニットはワイヤレスリモコンの受光範囲内に据付けるか、あるいはワイヤレスリモコンの操作者が移動して、ワイヤレスリモコンを操作してください。</p> <p>● 室内制御基板とワイヤレスリモコンはユニットごと異なるペアナンバーに設定します。</p>
同 時 ツ ィ ン ・ ト リ プ ル ・ フ ォ ー	<p>● どの室内ユニットが受信しても運転します。</p> <p>例はトリプルの場合</p>	

5 風速自動設定方法

MPL(Z)-RP-BA形には風速自動機能があります。

本設定を行うことにより、ワイヤレスリモコンから風速自動が選択可能になります。

[操作手順]

1. 設定ボタンを押します。(ボールペンなど先の細いもので押し下下さい。)
リモコン表示が停止の状態から操作してください。

機種設定 が点滅、機種ナンバー (3桁の数字) が点灯表示します。

2. **設定** ボタンを押します。

風速 が点滅表示し、風速自動設定番号が点灯表示します。
(設定番号01: 風速自動なし)

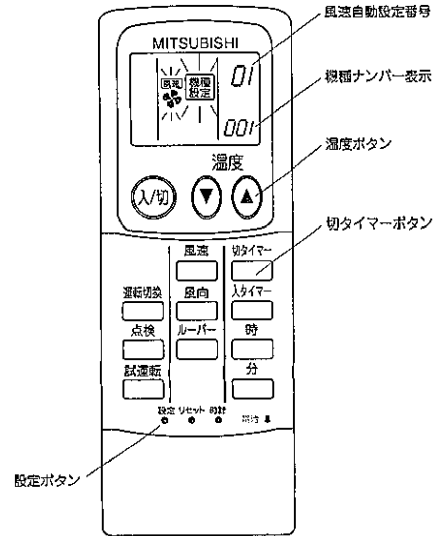
3. **温度** ボタンを押して設定番号を02に合わせます。

(設定番号02: 風速自動あり)

※操作を間違えた場合は、**入切** ボタンを押し、2.の操作からやり直してください。

4. 設定ボタンを押します。(ボールペンなど先の細いもので押し下下さい。)

設定されたペアナンバーが3秒間点灯した後、消灯します。



6 試運転方法

[操作手順]

1. 電源を入れる
2. **試運転** ボタンを2回連続押します
3. **運転切換** ボタンを押します

※電源投入後、約3分間はシステム立上げ中です。

- “**試運転**” 及び運転内容を表示します。
- リモコン表示が停止の状態から操作してください。
- 運転モードが冷房⇄暖房に切り替わります。

冷房 …… 冷風の吹出しを確認
暖房 …… 温風の吹出しを確認 (少し時間がかかります)

4. **風速** ボタンを押します
5. **風向** ボタンを押します
6. 室外ユニットのファンの運転を確認します

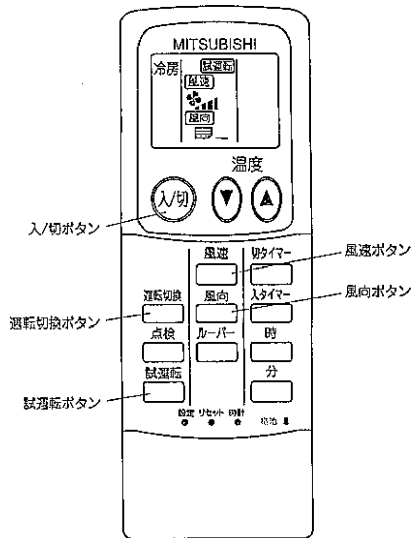
- 風速が変化することを確認します。
- オートベーンの作動を確認します。
- 室外ユニットは、ファンの回転数をコントロールし能力制御をしています。そのため外気の状態によっては、ファンは低速で回り、能力不足にならない限りその回転数を保持します。従って、そのときの外風によりファンが停止又は逆回転となることがありますが、異常ではありません。

7. **入切** ボタンを押します

- 試運転が解除されます。

または
試運転 ボタンを2回連続押します

- 試運転は、2時間の **切** タイマーが作動し、2時間後に自動的に停止します。
- 同時ツイン・トリプル・フォーの場合は、全ての室内ユニットが確実に運転することを確認してください。誤配線等でも異常表示しない場合があります。



7 ユニットの機能選択

本設定はスリムエアコンの場合の設定方法です。フリープランシステムの場合は、室内及び室外制御基板上のディップスイッチで設定を行います。ディップスイッチの設定方法はフリープランシステムの技術資料等を参照してください。

リモコンより必要に応じて各機能を設定します。各ユニットの機能選択はリモコンからのみ設定可能です。

表1より機能選択が必要な項目を選択してください。

なお、ワイヤレスリモコン操作部からはワイヤレス機種が接続された冷媒系統のみ設定可能です。ワイヤレスリモコン操作部では冷媒アドレス指定はできません。

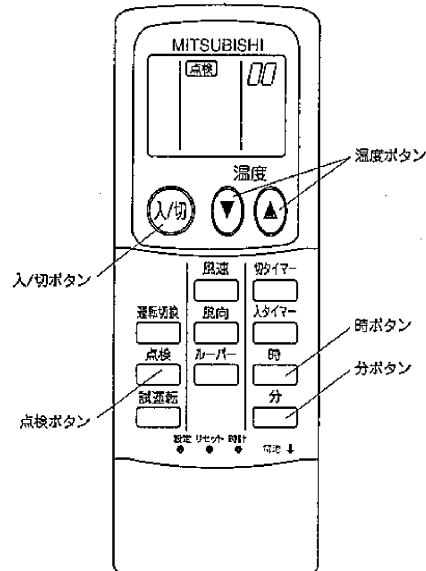
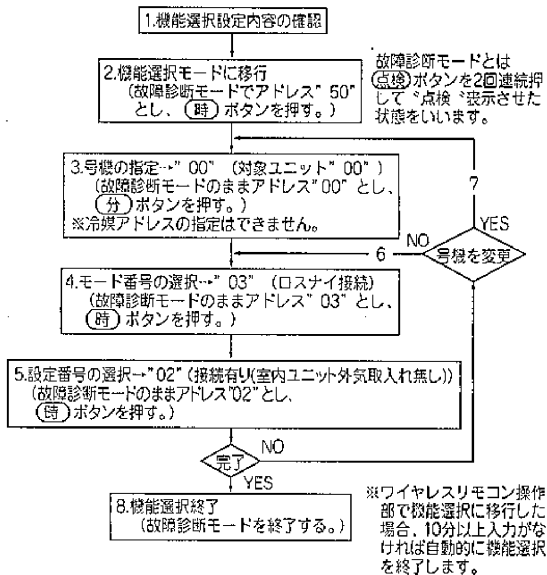
表1 機能選択内容 (各室内ユニットの出荷時設定内容、モードについての詳細は室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。)

モード	設定内容	モード番号	設定番号	チェック欄	対象号機
停電自動復帰	無し	01	01		00号機
	有り		02		
室温検知位置	同時運転室内ユニット平均	02	01		
	リモコン接続室内ユニット固定		02		
ロスナイ接続	接続無し	03	01		
	接続有り (室内ユニット外気取入れ無し)		02		
	接続有り (室内ユニット外気取入れ有り)		03		

お願い 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表中のチェック欄に○印等で記入してください。

[機能選択の流れ]

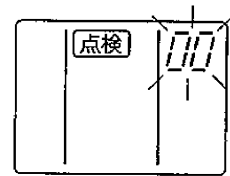
まずは機能選択の流れをつかんでください。ここでは、【表1】の“ロスナイ接続”を“接続有り (室内ユニット外気取入れ無し)”の設定を例に説明します。実際の操作については下記操作手順をご覧ください。



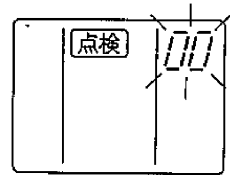
【操作手順】

1. 機能選択の設定内容を確認してください。
機能選択にて設定内容を変更した場合、そのモードの設定内容が変わります。2～8に従い現在の設定内容を確認し、【表1】のチェック欄に記入の上、設定を変更してください。

2. **点検** ボタンを2回連続押します。
(リモコン表示が停止の状態から操作してください。)
→ **点検** が点灯表示し“00”が点滅表示します。
④ 温度ボタンを1回押して“50”に合わせます。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **時** ボタンを押します。

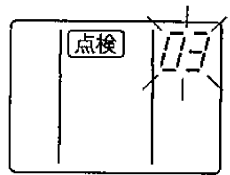


3. 室内ユニットの号機を合わせます。
⑤、⑥ 温度ボタンを押して室内ユニットの号機に合わせます。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **分** ボタンを押します。
(**分** ボタンにて号機を入力することにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのを知りたい場合はこれにより確認してください。なお、号機が“00”“07(室内ユニットの据付工事説明書のAL号機と同じ意味付けとなります)”の場合は同一冷媒内の全室内ユニットが送風運転します。)
※設定できない号機を入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)”が出力(ブザー音のみ出力)されます。この場合は、再度号機を入力し直してください。
※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、ブザー音“ピピッ”出力)は、再度号機を入力し直してください。



00号機

4. モード番号の選択
⑦、⑧ 温度ボタンを押して設定したいモード番号に合わせます。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **時** ボタンを押します。
→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する現在設定値を出力します。

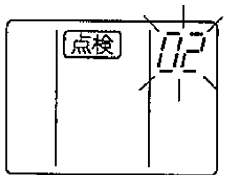


モード番号 03 ロスナイ接続

出力は現在設定値=1→ピー(1秒)×1回
2→ピー(1秒)×2回
3→ピー(1秒)×3回

※設定できないモードを入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)”が出力(ブザー音のみ出力)されます。この場合は、再度モード番号を入力し直してください。
※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、またはブザー音“ピピッ”出力)は、再度モード番号を入力し直してください。

5. 選択したモードの設定番号を入力します。
⑨、⑩ 温度ボタンを押して設定番号を選択します。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **時** ボタンを押します。
→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する設定番号を出力します。



設定番号 02 接続有り
(室内ユニット外気取入れ無し)

設定番号=1→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×1回
2→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×2回
3→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×3回

※設定できない番号を入力した場合は、元々設定されていた番号に設定されます。
※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、またはブザー音“ピピッ”出力)は、再度設定番号を入力し直してください。

6. 室内ユニットの号機を変更せずに、更に他のモードを設定する場合は4.、5.を繰り返してください。

7. 室内ユニットの号機を変更して、機能選択を行う場合は3.～5.を繰り返してください。

8. 機能選択を終了します。

⑪ ボタンを押します。

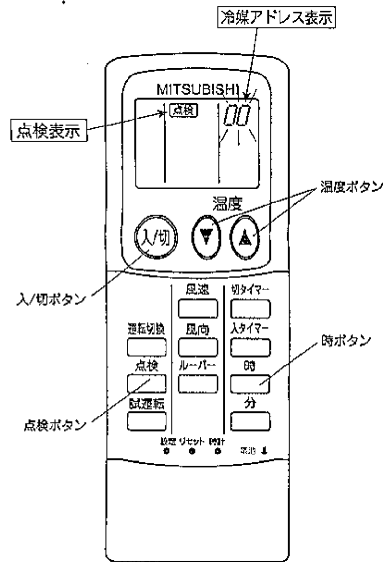
機能選択終了後、30秒間はワイヤレスリモコンより操作しないでください。

【お願い】

工事完了後、機能選択により室内ユニット機能を変更した場合は、必ずすべての設定内容を表1のチェック欄に○印等で記入してください。

8 自己診断

本操作はスリムエアコンの場合の操作方法です。フリープランシステムにおける自己診断の操作方法は、フリープランシステムの技術資料等を参照してください。

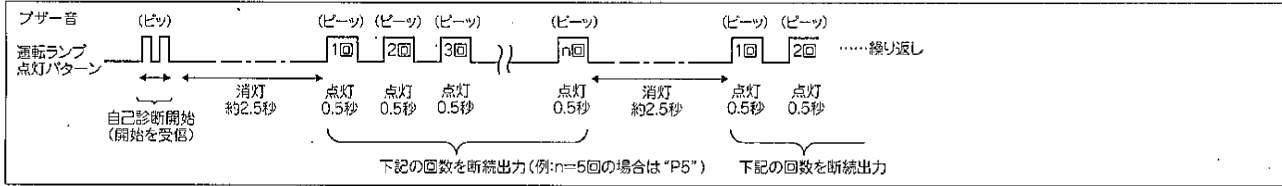


[操作手順]

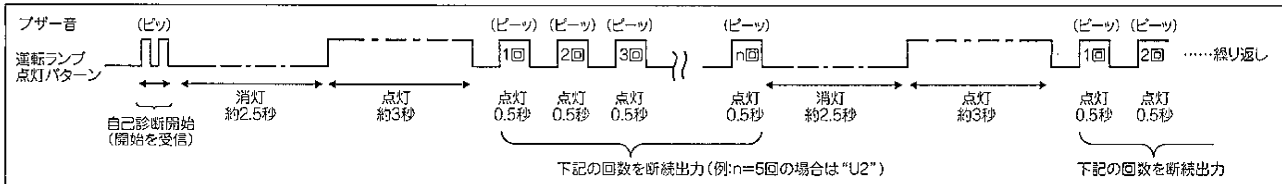
1. **点検** ボタンを2度押します
 - “点検” が点灯し、冷媒アドレス表示 “00” が点滅します。
 - リモコン表示が停止の状態から操作してください。
2. **温度** ボタンを押します
 - 自己診断を行なう室内ユニットの冷媒アドレスに合わせます。
 - ※冷媒アドレスの設定は室外ユニットディップスイッチ (SW1) にて行ないます。
(詳細は室外ユニットの据付工事説明書をご覧ください。)
3. 室内ユニット受光部に向けながら **時** ボタンを押します
 - このとき、エアコンに異常がある場合室内ユニット受光部からブザーの断続音、運転ランプの点滅により、点検コードを出力します (出力は点検モードを解除するまで継続します)。
4. 室内ユニット受光部に向けながら **入切** ボタンを押します
 - 点検モードが解除されます。

● 点検コードの出力内容は下記をご覧ください。

[出力パターンA]



[出力パターンB]



[出力パターンA] 室内ユニットが検出する異常

ブザー音回数 運転ランプ回数	点検コード	不具合内容	備考
1回	P1	吸込センサー異常	
2回	P2, P9	配管 (液管または二相管) センサー異常	
3回	E6, E7	室内ユニット-室内ユニット間の通信異常	
5回	P5	ドレンオーバーフロー保護作動	
6回	P6	凍結保護作動 (冷房時) / 過昇保護作動 (暖房時)	
7回	EE	組み合わせ異常 (システム異常)	
8回	P8	配管温度異常	
9回	E4	ワイヤードリモコン-室内ユニット間の通信異常	
10回	-	-	
11回	-	-	
12回	Fb	室内制御系異常 (メモリー異常、その他)	

[出力パターンB] 室内ユニット以外 (室外ユニット、その他) が検出する異常

ブザー音回数 運転ランプ回数	点検コード	不具合内容	備考
1回	E9	室内ユニット-室外ユニット間の通信異常	詳細は室外基板のLED表示を確認ください。
2回	LP	過電流遮断	
3回	U3, U4	室外サーミスター系異常	
4回	LF	圧縮機過電流遮断 (ロック) 異常	
5回	U2	吐出温度異常/49C作動/冷媒不足異常	
6回	U1, Ud	高圧圧力異常 (63H作動) / 過昇保護 (過負荷運転保護/送風機異常)	
7回	U5	放熱板温度異常	
8回	U8	室外ファン保護停止	
9回	U6	圧縮機過電流遮断 (過負荷) / パワーモジュール異常	
10回	U7	低吐出スーパヒート異常	
11回	U9, UH	電圧異常/電流センサー異常	
12回	-	-	
13回	-	-	
14回	その他	その他異常 (室外基板LEDを確認ください)	

※1. 自己診断開始の受信出力のみで、以後ブザー音なし、運転ランプ消灯のままの場合は、異常履歴はありません。

※2. 自己診断開始の受信出力後、ブザー音のみが連続3回出力“ビー-ビー-ビー (0.4秒+0.4秒+0.4秒)”の場合は、冷媒アドレスの指定が間違っています。